

「川辺町第5次総合計画（案）」意見募集結果

「川辺町第5次総合計画」の策定に向け、案に対する意見募集を行いました。結果は以下のとおりです。
ご意見をお寄せいただきました皆さん、誠にありがとうございました。

1. 意見募集期間

平成26年3月10日（月）から平成26年4月9日（水）まで

2. ご意見の提出状況

意見提出者数 4名

延べ意見数 9件

3. 提出されたご意見と町の考え方

以下のとおり

提出されたご意見と町の考え方

No.	頁	項目	ご意見（一部要約）	対応（町の考え方）
1	—	総合計画全般	総合計画の継続性が感じられない。前の計画時の背景からの変化をどう反映しているか。重要課題の変化があるのか。	第5次総合計画策定に際しては、第4次総合計画に示した施策の進捗状況について担当課と庁内において評価作業を行ったうえで施策を検討しています。 さらに、少子高齢化が県においても進んでいること、東日本大震災を踏まえた対策が求められること、TPPの締結など自由貿易の流れが強まっていることなど、背景の変化についても踏まえながら施策を検討しています。
2	—	総合計画全般	基本構想は作文としては良いが、課題の解決等をどう反映しているのか。具体的な方向を示すと良い。	総合計画策定の背景の「第3章川辺町の主要課題」では、主に基本計画の各章に対応する課題と、計画全体にかかわる人口減少を抑制することなどの課題を整理しています。 これらの課題については、個別の施策分野で対応するのは、各課において施策を検討するに際して配慮しています。また、全体にかかわる人口等の課題については、各課及び庁内会議についても議論して、基本計画で施策を盛り込みました。具体的施策については実施計画で検討していきます。

3	P73 P88	基本計画 第4章第4節 公園・緑地 基本計画 第5章第4節 観光・交流	観光や交流、公園・緑地の重要度が低く、不満が強いが、対応を反映させるべきではないか。	重要度が低い場合、その施策をなおざりにするのではなく、個別の施策において力点を置く施策として観光、公園等について示しています。 公園・緑地の主要施策として公園の整備、観光・交流の主要施策としては観光資源の活用と地域間交流の推進を掲げています。
4	P66 P84	基本計画第4章第1節 居住環境 基本計画第5章第2節 商工業・サービス業振興	工業誘致は優先しないしてほしい。今の状況で将来を考えていくべきである。住宅地を整備することがベストである。	良好な環境の住宅地を整備することは重要であると考えられていますが、町の自立性を高めるためには身近な雇用の場をつくるための産業立地の支援も重要であると考えています。
5	P38 P86	基本計画第2章第1節 健康づくり 基本計画第5章第3節 勤労者	今回の計画で高齢化を問題にしているため、基本計画の中に具体的な施策や計画があるべきである。 65歳以上の人を活用することや、健康を維持するための、頭を使い、運動を促す施策を立てるべきである。 退職者の中から経験豊富な人を5～10名を探して、知恵を拝借するべきである。また、ネットや大学も活用すべきである。	ご意見については、健康づくりや、勤労者にかかわる施策を具体的に進める際に、一層配慮したいと考えています。また、まちづくり全般において、高齢者や退職者の知恵や協力を一層いただくことが大切と考えています。 ご提案につきましては、今後、施策を具体的に検討する際に参考とさせていただきます。
6	P28	基本計画第1章第3節 防災・災害対策	川辺町では災害は発生しやすいのは山間部である。ほかには火災、地震が考えられるが、他の自治体に比べて最重要ではなく、重点的に対策を考えるべき地区をしっかりと考えればよいでしょう。 全町で対策を行うのであれば、地震対策や火災対応についての教育を徹底することである。	防災対策を重点に行うべき地区については、施策の実施に際して配慮します。 ただし、安全なまちづくりのためには、ご意見のように防災意識の向上やそれぞれの地域における主体的な対策も必要であり、その点などを施策で示しています。
7	P21 P88	基本計画 重点プログラム【1】かわべんびックプライドづくりプログラム 基本計画第5章第4節 観光・交流	フルーツ大福は駅前販売したい。落鮎はたくさん獲れるので、上手な包装をして商品化が可能である。山が低いため、手軽に楽しめる場所になる。 ダム湖では筏大会をやりましょう。	特産品の開発やダム湖の活用については、観光・交流などの施策で掲げており、また、重点プログラムについても、特にダム湖の活用は重要な要素として捉えています。 ご提案につきましては、今後、施策を具体的に検討する際に参考とさせていただきます。

8	P90	総合計画全般 基本計画第6章第1節 協働の推進	<p>特産品はフルーツ大福か？ 人の心は学校で養われるものなのか？ 学校もモンスターペアレントにより、先生も何ともならない。 大事が起きなければ、人と人とのつながりはできない。日本全体の問題ではないか。 協働が進んでやれる町にしたい。</p>	<p>特産品開発については、観光・交流などの施策として掲げていますが、個別の商品の評価については回答を控えます。 人の心、人と人とのつながりを養うことについては、学校とともに、家庭や地域のつながりも重要であると考えています。 協働のまちづくりについては、ご意見をいただいたように、各施策分野において協働での取組みを充実するとともに、町民に積極的に参加いただけるような取組みを考えていきます。</p>
9	P12 P21 P81 P88	<p>基本構想第2章 まちづくりの基本理念と将来像</p> <p>基本計画 重点プログラム 【1】かわべしビックプライドづくりプログラム</p> <p>基本計画第5章第1節 農林業振興</p> <p>基本計画第5章第4節 観光・交流</p>	<p>特色あるまちづくりで、人口減少を食い止めよう。たとえば、川辺町は野菜づくりの達人が多いので、京野菜や外国野菜を栽培してもらい町のセールスポイントとする。 高齢者が特殊な野菜づくりに取り組むことは、一つの物語になる。 他にも特色ある仕事をしている人を伸ばしていくように町が支援し、そういう仕事を求めて外から流入することを考えるべきである。これについて、もう一つまちづくりの方針として、大きな柱にすると良いと思う。</p>	<p>ご意見をいただいたように、総合計画においては川辺町の特色づくりとプロモーションに力点を置いております。 また、個別の施策では、農林業振興における農産物のブランド化の推進、観光・交流などの施策において、ご意見のようなしかけを検討していきたいと思っております。ご提案につきましては、今後、施策を具体的に検討する際に参考とさせていただきます。</p>